



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(24)

活動日時 2019年12月24日(火) – 12月26日(木)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 守谷富士彦 (教育研究推進員)



教育ビジョン研究センター (EVRI) は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会 (提案自治体：広島県) が受託した JICA 草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家の派遣で協力しています。2019年12月24日には、教育省大会議室に於いて事業完了式典が催されました。

式典には、教育省の Im Koch 次官, Ton Sa Im 次官, Soeu Socheata 次官, JICA カンボジア事務所から菅野祐一 所長, 教育総局から Mok Sarom 副局長, Lor Chhavanna 副局長, 広島県から下崎正浩 国際部長, 事業協力している広島大学教育学研究科教育ビジョン研究センター (EVRI) の草原和博センター長・教授, 桑山尚司 講師のほか, 教育関係部局の職員約 80 名が出席しました。Im 次官は、カンボジアの復興と広島の復興を重ね合わせながら事業に対する賛辞と感謝を述べました。3 年間の事

業の成果物として、教科書モデル単元と本年度開発している社会科カリキュラム・教科書開発マニュアル (ドラフト版) が式典で配布されました。式典は国営放送のカンボジア放送局ほか複数のテレビメディアが取材しました。

式典後は、3 年間の研修を通して専門性を高めたカンボジア側の専門家が主体となり、事業の経過と開発したマニュアルの概要について参加者に紹介しました。草原は「by Cambodia, for Cambodia, in Khmer」のローガンのもと、学校教育に関わる各機関がシステムティックに連携してほしいこと、マニュアル開発者が教師教育者となしてほしいこと、マニュアルを活用しながら 10 年間かけて修正してほしいこと、の 3 つ願いを伝えました。25 日と 26 日には、3 年間の研修を通してどのような専門性の向上がみられたのかについて、守谷が聞き取り調査を行いました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp

EVRI HP/Facebook

